



世の中には不思議で分かりづらいことがたくさんあります。自然、科学、歴史など、詳しい先生に解き明かしてもらいましょう。

大きさや形、色で分かる 河原の石の生い立ち

夏となり、川にバーベキューやキャンプに行く機会が増えます。河原ではさまざまな石を見ることができ、よく見ると大きさや色が違っていることが分かりますね。さて、この石たちはどこから、どのようなようになってきたのでしょうか？

川下る途中で丸く

川にある石は、水の流れるとともに動いています。動き方は、川の傾斜と川の深さ（水深）によって変わります。晴れた日には水深が小さく、石を動かす力はありませんが、雨の日には水かさも上がってきて、流れてくる水とともに石も流れて下っているのです。

夏となり、川にバーベキューやキャンプに行く機会が増えます。河原ではさまざまな石を見ることができ、よく見ると大きさや色が違っていることが分かりますね。さて、この石たちはどこから、どのようなようになってきたのでしょうか？

が、これもすぐく小さな石が、水中にたくさん浮かんで流されているからなのです。このような石たちの多くは、雨が降った時に山の斜面から崩れて落ちて、川の中に入ります。それぞれの山は、その生い立ちに歴史を持っていきますので、山にある石の種類も山によって特徴があります。川には白い石や黒い石、キラキラと光るものを含んでいる石、模様のある石を見つめることができますが、これは石の生い立ちの違いを表しています。

川底では、水の力を受けて石が転がったり、滑ったり、飛び跳ねて少しずつ移動しています。想像できるように、石は小さいほど動かされやすく、大きいものほど動きづらくなっています。傾斜の大きな山の中の川では、人間の力では持ち上げられないような大きな石でさえも移動することがあります。また雨が降った時に川の水の色が茶色く濁って見えることがあります

また、たくさん石たちが川を流れて下る途中で、石と石がぶつかり合ったり、擦れたりすることで、石の角が削れていき次第に形が丸くなっています。山ではゴツゴツしている石も海に着くころには丸い形となっていくのです。

どこから、どのようにして、ここまで流れ着いたのかを考えながら、石の形や色を観察すると面白いかもしれません。最後に、山の天気は変わりやすいので、雨が降ったり、川の水が増えたりしたらすぐに帰宅して、川だけでなく山からも離れるように心がけましょう。

危険及ぼすことも

一方で、この石たちの移動が時に危険を及ぼすこと

総合研究部国際流域環境研究センター 柿沢一弘

(山梨大学大学院医学工学)

石の色や模様は、その石の生い立ちを物語っています